

2023-2024年度
上野東ロータリークラブ クラブスローガン

「三十九の人
三十九の場を始めて
例会の始まらんとす」

週報

WEEKLY REPORT 2023-2024



世界に希望を生み出そう

2027/No.44

事務所 三重県伊賀市西明寺2756-104 ヒルホテルサンピア伊賀内
TEL 0595-24-4650 FAX 0595-24-4656

例会 毎週木曜日 12:30点鐘 第3・第5週例会 18:00点鐘
ヒルホテルサンピア伊賀 TEL 0595-24-7000

URL: <http://www.ict.ne.jp/~u-eastrc/> e-mail: u-eastrc@ict.ne.jp

本日の例会

第2028回 2024年6月20日(木)

開会点鐘 18:00
ロータリーソング『四つのテスト』
ゲスト・ビジターのご紹介
お誕生月のお祝い
出席報告
会長の時間・幹事報告
ニコニコボックスの報告・委員会・同好会報告
本日の行事 引継ぎ例会
食事の時間・乾杯
閉会点鐘

前回の例会

第2027回 2024年6月13日(木)

開会点鐘 12:30
ロータリーソング『我らの生業』
『いつくしみ深き讃美歌312番』
ゲスト・ビジターのご紹介
食事の時間・出席報告
会長の時間・幹事報告
ニコニコボックスの報告・委員会・同好会報告
ロータリーの友読みどころ
本日の行事 幹事本音を語る
西口幹事、山森幹事
閉会点鐘 13:30

出席報告 西出席委員長

正会員36名 欠席7名 猶予者3名 76.47%

2022回修正出席率 1名の欠席に変更 96.88%



『会長の時間 ~ 親睦活動月間に因んで』

令和6年6月13日



2023-2024年度 会長) 長谷川真嗣

~ ハビメタ愛好家とミツバチと口ひげあごひげと気象愛好家 ~

2023-2024年度の最終月は“親睦活動月間”だ。ロータリーの親睦活動とは？ 会員の共通の関心事や職業やレクリエーション活動を軸に交流と友情を深めコミュニティの構築を目的とし世界中から結束した人たちの集まりだ。どっから引用してきた文章なので自分の言葉置き換えると、好きなことを気の合う仲間とワイワイ遊んで仲良くなる、ってことか。

もう少し堅い話をすると、RIのWEBサイトを覗いてみると、RIから認定された“親睦活動グループ”ってというのがあり認定基準もあるそうだ。ちょっと抜粋してみよう。

- ・ 5ヶ国を代表する25人のメンバーがいること
- ・ 奉仕プロジェクトやプログラムを推進するための方策として利用しないこと
- ・ 既存の親睦グループ、RI、RC財団のプログラムの目的と重複していないこと
- ・ リーダーが正会員のロータリアン、ローターアクター、平和フェローであること

うーん…… なかなかハードルの高い認定基準があるんだ。世界規模の集まりなので、きっと数えきれないほどのグループがあるんだろう。ちょっと珍しいグループを見てみよう。アンティーク自動車チェス、コーヒー愛好家、エジプト考古学、メンタルヘルス、ハビメタ愛好家、凧、トライアスロン、キルト・手芸、顎ひげと口ひげ、ミツバチ、気象愛好家 …………… とまあ、色々あるもんだ。世界は広い。

いきなり範囲を狭めて、うちのクラブに焦点を当ててみよう。陶芸、ゴルフ、野球、釣り、バイクツーリング、(2人しかいないが)短歌、こんなところか。この先、もっとマニアックな趣味の集まりが増えて会員間の相互親睦が図れることを期待したい。

うちのクラブにも退会防止委員会があるが、どのクラブにとっても、“退会防止”は重要課題の一つであるように思う。クラブ内の親睦活動がこのクラブに在籍したと思わせる大きな役割を担っていることは間違いないであろう。



ニコニコボックスの報告 子日会員

長谷川会長 山森副幹事、本日の幹事のホンネ楽しみにしています。
 神戸会員 陶芸同好会研修旅行にご参加いただきました15名の皆様ありがとうございました。
 西会員、中尾会員 神戸さん先日ありがとうございました。
 小林会員 山森次期幹事の本音をドキドキしながら聞いてます。
 宮田会員、子日会員、西会員、中村会員、平井会員、鈴木会員、木津会員、野口会員、三谷会員、岡田会員、宮岡会員、
 神崎会員、南会員、出後会員 幹事本音を語るよろしく。
 山森会員 本日の卓話宜しくをお願いします。
 栗本会員 バッチ忘れました。
 西会員 ホーム例会欠席のお詫び
 先週と今週、東くんより金額の指定があり西君より3口頂き何とか頼まれました金額を完了いたしました、ありがとうございました。
本日合計 22,000円



ロータリーの友読みどころ 広報・雑誌 子日委員長

入会の若い順より指名させていただきましたが最後に私が締め括らせて頂きます。
 今月はロータリー親睦活動月間となっております。100年程前からポール・ハリスが「ロータリーの原動は親睦です」
 7Pから書かれております。13Pロータリー親睦活動グループが約100程掲載されております。

今月の歌壇には残念でしたが長谷川会長の歌壇は掲載されておりませんでした。

縦組み65Pポストコロナのメンタルヘルスと自殺予防、筑波大学医学医療 災害・地域精神医学教授 太刀川弘和さんがコロナに感染した人がメンタルヘルスの事を十分考えないといけないという事が書かれております、特にメンタルヘルスで注意していかないといけないのが、年間約30,000人が自殺で亡くなっております、コロナ禍以前は30,000人を切っていたがコロナ禍により、30,000人を超えるようになってきた、その中でも特にリストラ、倒産、借金、離婚、病气などのなかで悩みが3つ以上あれば自殺リスクが高くなることが書かれておりました。

56Pお米をつないで、昭和20年から30年ごろは食料の自給率が80%から90%あったと思いますが、今40%を切っている。東北の方では冷害によりお米が出来なかった年があり改良に改良を重ね、冷害に強く味の良い品種の開発に成功された事が書いてあります。特に美味しいお米を未来に繋げていきたいという事が書かれております。

皆様、出来るだけ友をご活用いただきたいと思います、来年度は野口委員長です。

1年間ありがとうございました。



本日の行事 幹事の本音を語る 西口幹事 代読山森副幹事

まず、例会の欠席をお詫びいたします。決して、卓話を逃げたわけではないので、ご容赦ください。本日は、前回少し話をさせていただいた「幹事の本音を語る」の本番です。

神戸さんと木津さんからお誘いをうけ、何もわからないまま入会してから早いもので五年も経ちました。入会した時には、上野RCのお歴々や伊賀上野ライオンズクラブのお歴々から多くの質疑を受けました。なんで上野東RCなんやと。最初に神戸さんと木津さんからお誘いいただいたと話をすると収まっていったと思っています。今でもありますが。なんやあれやこれやで、時が経ち、長谷川会長から「なんとかフォローするから幹事をしてくれないか？」と打診された時は、困惑しました。木津さんからもおれが会長の時は、幹事をよろしくとありましたので。木津さんに長谷川さんの幹事を務めますと話をしたときは、正直怖かったです。

木津さんにご理解いただけたかどうかは分かりませんが、度量の大きさに敬服し、長谷川年度の会長をお引き受けすることになりました。

次年度理事会の段取りがあり、前幹事の中村さんにいろいろと聞きながら準備をしたことを覚えています。先輩からは、幹事の心得や会長の失敗は、幹事が被ることも学びました。地区大会やIM、その他地区の研修などの段取り、地区補助金事業の内容、予算組み、年間スケジュール、例会運営など多岐に渡る仕事があるとわかってきました。私自身の言葉足らずにより、時には誤解を生じさせたり、私自身が不勉強であるが故に、行き届かない点、ひいてはご迷惑をおかけする事も多々あったと思います。しかし、理事会のメンバーをはじめ会長がサポートしていただき、事前打ち合わせや事前相談、段取りのやり方も学ばせていただきました。特に、耳の痛いご指摘やお叱り等を数多く頂きながら、また同時に、助言やアドバイスを自分自身で咀嚼しながら、取り組んできました。幹事は、その年度の顔である。会長の意向を受けて、段取りをし、そのクラブを一つにまとめ上げていく手腕をいかに発揮するのが幹事と考えました。設立から四十数年経た上野東ロータリークラブの幹事という重責を担うにあたり、長谷川会長の勇気と決断に驚きを禁じえません。西口に頼んで大丈夫なのかなと思わなかったのかなと、会長には、聞けませんが思っています。会長もヤキモキしたこともあろうかと思えます。また、事前のミーティングを理事会前に開催して頂いたことは、会長の優しさだと感じています。そこで人生道場と言われるロータリークラブの幹事を務め終えて思うことが二つあります。

一つ目は、会員みなさまへの感謝です。人は、自分が困っている時や辛い時、或いは苦しんでいる時に、誰かに手を差し伸べてもらおうと、もの凄く感謝します。ところが、順風満帆の時や上手く行っている時等、必ず周囲で誰かが支えてくれている筈なのに、中々感謝の気持ちが出て来ません。順風満帆の時や上手く行っている時にこそ、支えてくれる周囲の人達に「有難い」と言う感謝の気持ちが持てたら、それは、本当に価値のある素晴らしい事だと痛感しました。自分が困っている時は勿論の事、特に順風満帆の時や上手く行っている時にこそ、「ありがとう」と言える、そんな感謝の気持ちを何よりも大切にしたいと思いました。二つ目は、挑戦する勇気です。私達が「物事に挑戦する時」には、必ず小さな失敗を繰り返します。そして例外なく、それを避けて通る事は出来ません。しかし、この小さな失敗を経験する事で人は大きく成長する。人は、失敗と成功の紆余曲折の中から、本当に大切な数多くの事を学び取る筈だと。大切な事は、失敗を恐れず積極果敢に挑戦する勇気を持つ事だと思いました。ロータリークラブは、「はいかYESか喜んで。おっしゃるとおり、そのとおり」と聞いていましたので、何事も経験と幹事を受諾しました。その幹事への挑戦という過程で、仮にそれが上手く行かなかったとしても、そこから何かを学んで一歩でも前進をする。過去に於いて、数々の偉業を成し遂げた先人達も、例外なく様々な困難に遭遇しています。その都度悩み苦しみ、少しずつ前進をし、小さな失敗を繰り返しながらも、それを乗り越える事で成長し、最終的に大きな偉業を成し遂げています。この先人達を見習い、誰よりも率先して、勇気を出して何事にも挑戦して行くそして、それを乗り越えた経験と、そこから得た学びを今後の自分の糧となったと思っています。結びに、山森次年度幹事をサポートできるくらいまでは、なっていませんが、愚痴ぐらいは聞けると思えます。長谷川年度の幹事で、よかったと思います。そして長谷川会長の下で幹事を務めれたことを、自負しています。長谷川会長をはじめ理事の方々、会員の方々に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。